

いそせん



▲集荷に励む、真謝区の並里拓実さん

- ◆平成27年度決算…………… P2
- ◆決算審査特別委員会…………… P4
- ◆平成27年度決算審査意見書…………… P5
- ◆一般質問…………… P6
- ◆議決結果…………… P12
- ◆要請行動…………… P13
- ◆研修報告…………… P14
- ◆議会活動…………… P15
- ◆ワッタウムイ…………… P16
- ◆“みんなの声”聞いてみました…………… P17
- ◆題字提供はこの方…………… P18



議会広報

いそせん

第155号
平成28年12月1日

発行/伊江村議会
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集/印刷/発行/IT7
TEL:098-989-7421



▲一生懸命練習しました(東江上 アーリグシチャ)

題字執筆者紹介

具志川亀助さん(大正10年5月5日生まれ)
満95歳の現在でも元気に歩行され、笑顔のステキな亀助様。
カラオケもお上手で「ゲイシャ・ワルツ」が十八番!!
亀助様の歌声に皆さま聴きホレ、ウツリ♡です。
題字の練習も頑張りました。



▲奥さんのカメさんと仲良くハイチーズ!

どうぞ傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924(直通)

編集後記

申年を迎えたかと思うと残すところ一月、今年にはリオデジャネイロオリンピック、パラリンピックが開催され、沖縄からも多種競技に選手が出場し活躍しました。
2020年は、東京オリンピックが開催されます、沖縄発祥の空手競技も新しく種目に加わり、更に多くの選手が誕生することを楽しみにするとともに、本村から初のオリンピック選手誕生、並びに開会式アトラクションに伊江島の子供達が参加できることを期待したいものである。

広報委員長 内間 広樹

平成28年 第6回 9月定例会

2億798万円の黒字決算(一般会計)

平成27年度決算 6会計を認定

歳出77億6,730万円

歳入79億7,528万円

平成27年度決算の認定にあたっては、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行いました。

その結果、付託された6会計決算はすべて認定すべきものと決定されました。

村民1人当りに使われたお金はいくら？

1人当たり **1,655,434円**

1世帯当たり **3,500,360円**

※一般会計歳出予算額(77億6,730千円)を平成28年3月末の人口(4,692人)、世帯(2,219世帯)で割り、算出しました。

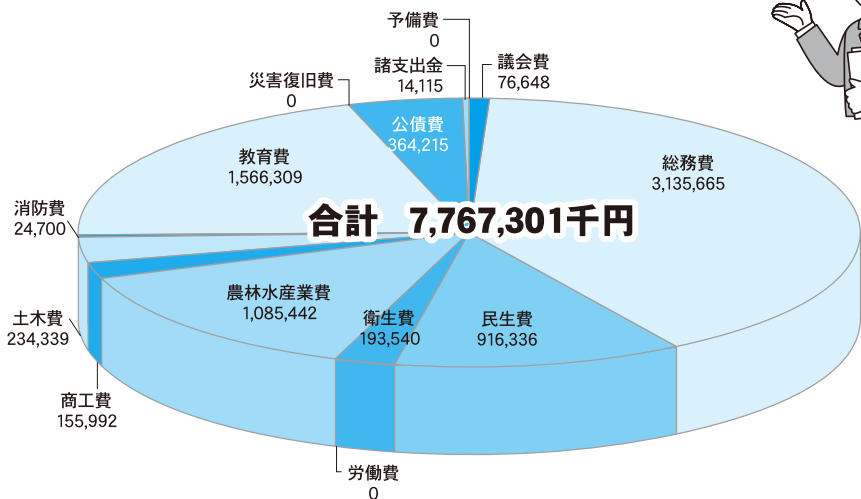
平成28年第6回(9月)定例会を9月13日～15日までの3日間の会期で開きました。本定例会では、平成27年度各会計の決算認定や平成28年度一般会計及び特別会計補正予算案等16議案を審議しました。(審議結果は12ページをご覧ください。)また、開会初日には一般質問が行われ、6人の議員が村の対応や考えを問いました。

平成27年度 会計別決算状況 単位:円

会計名	決算額	
	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	7,975,285,190	7,767,301,553
特別会計	診療所	288,094,115
	国民健康保険	1,109,332,471
	後期高齢者医療	67,616,041
	水道事業	198,961,819
	船舶運航事業	654,750,889

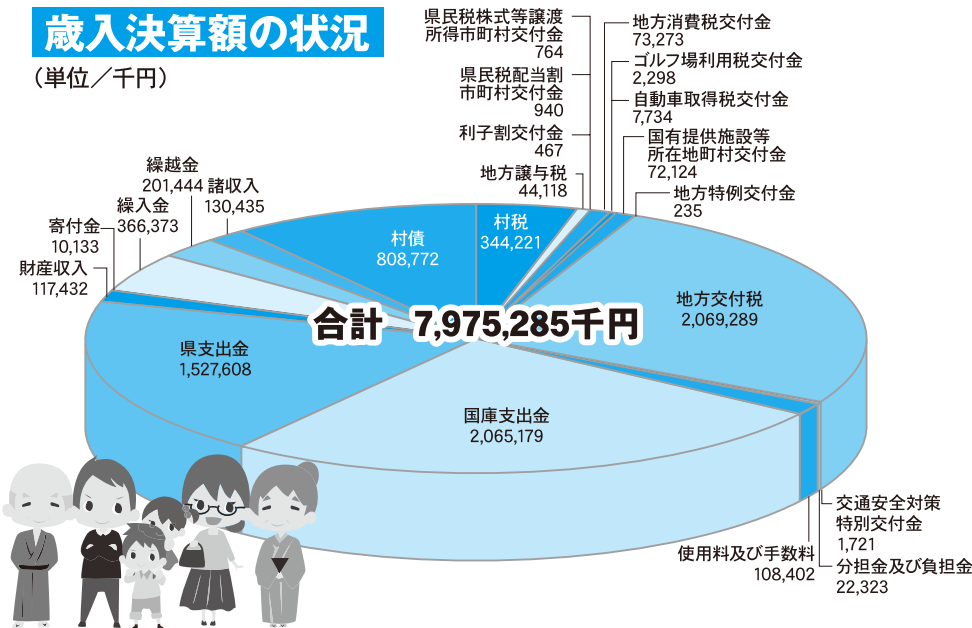
目的別歳出決算額の状況

(単位/千円)



歳入決算額の状況

(単位/千円)



平成27年度 決算審査意見書

伊江村監査委員 代表監査委員 具志川 豊秀 議選監査委員 亀里 敏郎

一般会計

決算審査の結果、前年度の審査意見も尊重され、その改善に努め事務の執行についても概ね適正に処理されているが、一般会計の歳入決算を見ると、自主財源は13億76万3千円(構成比16.3%)で依然として脆弱な財政基盤である。また、一般会計の投資的経費は対前年比15億4,557万4千円(56.8%)の増となったが主に、伊江幼稚園舎・伊江小学校舎改築併行防音工事、北部広域ネットワーク整備事業、多目的屋内運動場整備事業、伊江漁協製氷施設整備工事等によるものである。

一方、昨今の子ども貧困対策や子育て支援を鑑みて、扶助費、補助費の拡充が求められることや高齢化社会への対応、過疎化対策、社会資本の整備、更にはこれまで整備した施設の維持管理など村民の行政ニーズは多岐に亘ることから、各基金の効率的な執行が必要であると思料する。

今後とも、収支の均衡を維持しながら、より一層予算の効率的執行に留意し、健全財政の維持に努めるよう望むものである。

国保健康保険特別会計

歳入決算額は11億3,147万9,518円、歳出決算額は11億933万2,471円、差引2,214万7,047円となっている。単年度収支は1,687万4,227円で黒字、実質単年度収支も同額となっているが、毎年一般会計からその他繰入金として多額の繰入を余儀なくされている。今年度も6,000万円を繰入れている。本来保険税で賄うべきものが厳しい社会情勢の中で、保険税の増額は極めて厳しい状況にあり、今後も財源確保には苦慮するものと思われる。

なお、国保財政調整基金の当年度の基金積立、基金取崩しはなく、年度末の基金残高は2,352万7千円となっており大変厳しい状況である。

水道事業会計

当年度の総水量は684,750㎡であり、その内訳は、自己水源取水量65,723㎡(9.6%)、県企業局からの受水量619,027㎡(90.4%)となっている。

前年度の自己水源120,517㎡に対して、当年度は54,794㎡(△45.5%)も減少している。自己水源の減少は相対的に県企業局からの受水依存度は高くなっている。

水道事業は自己水源の確保が経営上最も重要であり、取水量は自然条件に大きく左右されるものの施設の維持管理に十分配慮して自己水源の最大限の活用を望むものである。当年度は、台風被害による湧出水源のポンプ故障等が大きな原因であり、今後の施設の改善策が急務となっている。

事業収支は、平成26年度に導入された新公会計制度への移行に伴い、2,332万4,054円の経常損失となっていたが、当年度は75万4,659円の黒字決算となった。

診療所特別会計

歳入決算額は3億4,839万1,479円で、前年度3億597万2,930円より4,241万8,549円(13.9%)増えている。歳出決算額では、2億8,809万4,115円で前年度2億6,694万4,617円より2,114万9,948円(7.9%)増え、実質収支は6,029万7,364円となり、前年度比では2,126万9,051円(51.5%)の増である。黒字決算ではあるものの、一般会計繰入金か3千万円あり、実質単年度収支は当年度も873万949円の赤字となったが、平成26年度以前に比べ著しく改善がみられる。

今後も村民のニーズに合った医療体制の確立と医師の安定確保を堅持し、健全運営を図りながら、引き続き村民の健康維持に努めていただきたい。

後期高齢者医療特別会計

歳入総額は6,920万6,165円で、その内訳は後期高齢者医療保険料4,611万8,143円(構成比66.6%)、一般会計繰入金1,847万9,306円(構成比26.7%)、繰越金412万9,599円(構成比4.2%)、諸収入42万2,617円(構成比0.6%)となっている。

歳出総額は6,761万6,041円でその内訳は総務費105万9,679円(構成比1.6%)と後期高齢者医療広域連合納付金6,655万6,362円(構成比98.4%)となっている。

船舶運航事業会計

当初計画で定期航路の運航が1,550回、臨時運航50回、定期航路外の臨時運航10回の計1,610回の運航計画で事業運営がなされたが、運航実績は、定期運航が1,468回で計画より82回の減、また、臨時運航は154.5回あり、計画の50回に対して104.5回の増となった。その要因は、民家体験泊事業によるものである。各船別の運航状況は定期航路及び定期航路外を含め「いえしま」が825回(50.6%)、「ぐすく」が805.5回(49.4%)となった。

運航事業の当年度決算は、総収益7億6,758万26円で、総費用6億5,475万889円となり新公会計制度の移行に伴い、前年度の純利益△6,348万7,950円(欠損額)であったが、当年度は1億1,282万9,137円の黒字に転じた。営業収益では第11表のとおり6億4,325万1,215円で前年度より435万6,143円(△0.7%)の減収、営業外収益では1億1,226万5,811円で前年度より245万2,306円(2.2%)の増となっている。

事業収益全体では7億6,758万26円で前年度の7億5,742万2,863円より1,015万7,163円(1.3%)の増となっている。

決算審査特別委員会質疑

問 グループの飲食店が開けない状態ですが、今後どのような形で運営していくか。

答 これまで2階のレストランで頑張っていた飲食業者が、今回やむなく店舗を廃止してあり、現在レストラン部分は閉鎖の状況であります。今後は、カントリーと一緒に運営していただきます。

問 一括交付金によってアジア野菜市場調査委託事業が行われ、調査に入ってから1年目ですが、今後の見通しについて伺いたい。

答 今後は12品目の候補野菜の中から青パパイヤとホーローパー、ガバオの3品目を選考栽培しております。その内容としても十分に信用性もあるということで、今後さらに栽培試験、ハウスも整備し、市場調査を含めて進めていく予定です。

問 地下ダムの完成が間近で、給水栓を各地域ごとに設置していますが、農家の中にこの給水栓は必要ないということ、設置を拒否している方がいますが将来のため指導する側としても、給水栓の設置を啓蒙するようなことはできないのか。

答 給水栓の設置にしましては、農家へ設置するように説明会等を通じて必要性を説明していると伺っていますが、なかなか設置してもらえない。設置を拒否される農家も実際に出来ておりませんが、必要根拠を訴えて、全圃場に設置ができるようやっていきたいと考えています。

問 防風林の日植栽関連行事ということで、平成28年2月12日に東江前区マタ溜池東側旧道への植栽を行いました。その中で、モクマオウが入っていませんが、モクマオウを植えるという考えはなかったのか。

答 今後の伊江村の農地防風林を含めた海岸防風林の植栽整備、そして村全体の緑化、植栽造林の中で、モクマオウをいかに活用していくかというのはい、今後の大きな課題であります。議会は、各団体として村の林業指導員も2人配置をしようとのことで、全体的な農村環境創造計画も策定の中でモクマオウの植栽も検討し緑化活動に努めていきたい。

問 伊江村の飲食店の定休日ですが、日曜日になると食事をするところがなく村民がある、観光客の皆さんも困っている状況です。観光地として飲食店の定休日についてどう思うか。

答 休日の飲食の対応が観光客に対して不便な状況になっている。ということには認識しております。今回、観光振興推進協議会を設置しますので、その中で、商工会、あるいは観光協会のほうと連携をして、観光客を迎え入れる体制づくりということで、検討していきたいと思っております。

問 伊江村緊急経済対策住宅リフォーム支援事業の平成26年度、平成27年度の件数と事業費総額について伺いたい。

答 平成26年度につきましては40件で、事業費が749万3,000円、平成27年度につきましては46件で、事業費が784万7,000円となっています。

問 診療所の受付が午前中11時まで、午後の診療開始が2時までとなっておりますが、ぎりぎりまで診療が食い込む状況が多々あり、医療関係者の休憩時間がま

まならない状況があるということも聞いています。この状況を工夫できるような形はできないか伺いたい。

答 年間の患者数を1日平均で割りますと100名超しており、午前中は混んで休憩時間が取れない現状もあります。現医療体制の中で改善できるところはなにかということで検討させていただきたいと思っております。



▲アジアン野菜のホーローパー(ホーロー/バジル)



▲ガバオ(カミメボウキ)

(※平成27年度決算審査意見書から一部抜粋)

問 海浜漂着物回収については、沖縄県海岸漂着地域対策推進事業、海岸海浜地域浄化委託業務等の事業を活用し、年に数回実施されていますが、十分な対応とは言えません。また、村民からも適宜に回収できないかとの要望もありません。このような状況に鑑み、対策が必要と考え、村当局の意見を伺いたい。

答 島の南海岸では台風やしけなどの自然災害によって多くの漂着物が漂着し、島の良好な景観を阻害しております。村では、これまで沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業、海岸海浜地域浄化業務を活用し、海浜清掃を実施しております。沖縄県海岸漂着物等地域対策推

進事業では、小中学生児童生徒へ環境教育の一環として、漂着ごみ等の回収や環境教育・普及啓発活動を実施、海岸海浜地域浄化業務においては、海岸・海浜の維持、自然環境の保全を目的とした清掃を実施しているところでありました。

また、伊江島観光協会、こころ、ビーチサイドハウスパーク、建設業協会会員等各種団体により、ボランティア及び地域貢献活動として海浜清掃が行われております。これまでお世話になった多くの関係者の皆様もに感謝を申し上げます。しかし、当該事業やボランティア等でも回収できない多くのごみが漂着してい

問 現在、防風林、防潮林の植栽事業が進行中、モクマオウの植栽は行われていない状況にあります。戦後の焦土化した島に緑を取り戻すために、島ぐるみの緑化運動が進められ、外来種であるモクマオウを苗から育て植栽し、その成長により人は安らぎ、防風林、防潮林として今日まで重要な役割を果たしてきました。また、モクマオウは他種に比べ10メートル以上にもなり、塩害にも強い樹木に適した樹木だとも思います。一方でモクマオウに隣接する農作物は邪魔者扱いされた一面もあり、農地防風林としては不向きであります。以上のこ

答 伊江島の魅力は青い海、そして白い砂浜です。海岸漂着物によって白い砂浜が魅力を失っているという部分で、島の海浜の景観を非常に阻害していると思っております。年間、回数的な部分も含めて除去するための清掃をどのぐらいやればいいのか調査し検討していきたい。

御質問のモクマオウの活用につきましては、農地保全整備事業等でも検討されてきましたが、畑に面している場所では、隣接地主の同意が得られず断念した経緯がありますが、現在計画中の農地保全整備事業（東江上第1、第3地区現並木道路）の植栽計画時には再検討していきたいと考えております。また、次年度には、造林事業で旅行村内にモクマオウ等の植栽を計画していただくところであり、今後においても、森林形成地や海浜等にはモクマオウを活用するなど、各種植栽関連事業実施時には植栽場所や環境に応じた樹種選定を行ってまいります。

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

村政のここを問う!

9月定例会 一般質問



山城 善彦 議員

海浜漂着物の回収について

村長/地域と連携を図りながら適時対応していきたい

るのが現状であることから、今後当該事業を継続しながら、さらにパトロールを強化し、必要に応じて業者へ委託することにも、地域と連携を図りながら適時対応してまいりたいと考えております。

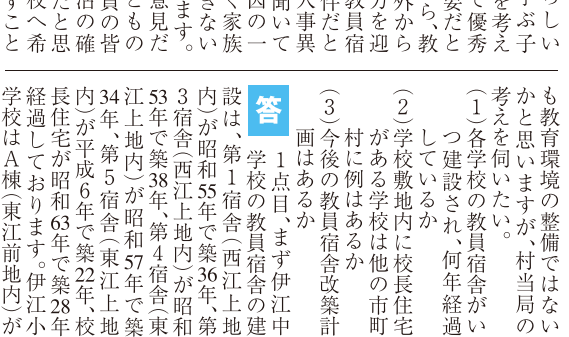
問 海浜漂着物現場を確認されてどのよう



▲海浜清掃の様子

村政のここを問う!

9月定例会 一般質問



渡久地 政雄 議員

学校教育環境の整備について

教育長/早期に実施できるように取り組んでいきたい

も教育環境の整備ではないかと思いますが、村当局の考えを伺いたい。

(1) 各学校の教員宿舎がいつ建設されるか、何年経過しているか

(2) 学校敷地内に校長住宅がある学校は他の市町村に例はあるか

(3) 今後の教員宿舎改築計画はあるか

答 1点目、まず伊江中

建設は、第1宿舍(西江上地内)が昭和55年、第3宿舍(西江上地内)が昭和53年、第4宿舍(西江上地内)が昭和57年、第5宿舍(西江上地内)が平成6年、第22年、校長住宅が昭和63年、第28年経過しております。伊江小学校はA棟(東江前地内)が

問 離島への教員の希望者が少ないと耳にしたことがありますが、その要因として、宿舎の問題をはじめ教職員の生活の面で不便があるとするならば、やはり伊江村に希望者が多くなるための一つとして、快適な教員宿舎の整備が必要であります。離島ならではの生活に何ら不便を感じないイメージを与えて、子どものために教員の皆さんが懸命になって取り組むには、やはり快適な家庭生活の環境をつくってあげることができないかと感じています。できるだけ早く取り組むことが大事だと思うので、早目に建築場所も想定しながら、早目に用地の選定をして、この計画に



▲伊江小学校教員住宅

3点目、本村には建築から30年以上経過している教員宿舎が半数以上あり、その建替えにつきましては現在、公立学校施設整備費国庫負担等事業計画書の長期計画に組み入れ、今後の整備を検討しているところで、当該計画書の現時点では、平成29年度に、西小学校教員宿舎の設計、30年度に伊江小学校教員宿舎の設計、31年度に伊江小学校教員宿舎の工事と伊江中学校教員宿舎の設計、32年度に伊江中学校教員宿舎の工事と伊江中学校教員宿舎の建築場所としましては、学校管理において迅速に対応できるように各学校の近隣に

集約する予定です。しかし、建設用地の確保やその交渉、手続等、計画どおり進捗できるか課題はあります。早期に実施できるように取り組んでまいりたいと考えております。

問 離島への教員の希望者が少ないと耳にしたことがありますが、その要因として、宿舎の問題をはじめ教職員の生活の面で不便があるとするならば、やはり伊江村に希望者が多くなるための一つとして、快適な教員宿舎の整備が必要であります。離島ならではの生活に何ら不便を感じないイメージを与えて、子どものために教員の皆さんが懸命になって取り組むには、やはり快適な家庭生活の環境をつくってあげることができないかと感じています。できるだけ早く取り組むことが大事だと思うので、早目に建築場所も想定しながら、早目に用地の選定をして、この計画に

のつとって着実に教員住宅を建設し、教員を含めた教育関係者が伊江村での生活が快適に専念して、子どもたちの教育に専念できる教育環境整備を今後、村と教育委員会と一緒に考えて全面的に取り組んでいきたい。



▲西小学校教員住宅

村政のここを問う!

9月定例会 一般質問



高袋 勉 議員

伊江村の観光大使について

問 伊江村の観光大使は広報活動のために観光大使は広報活動に重要な役割があると思うが、村としての活動状況をお伺いしたい。

答 観光大使の実績としては、平成23年12月に「武藤美幸」さんを観光大使の第1号に認定いたしました。

武藤さんは、中国のテレビドラマ「陽光天使」のロケ地として来村したのをきっかけに、イエラムサンタマリアの御縁もあり、平成23年度のハイビスカス祭りにおいて観光大使に就任をしていただき、観光大使として平成24年度に「ゆり祭り」や東京で開催されましたキックオフプロジェクトでのピーアール活動にご協力

村政のここを問う!

9月定例会 一般質問



亀里 敏郎 議員

伊江村の新たな観光資源について

問 先般、湧出水源から西へ約600メートル上り坂を登って、海側にある3から4台駐車できる場所に数万円で仕上げたであろう自然の奇跡の奇石がありまして。その奇石は、映画で登場する「ゴリラ」やキングコングに勝るとも劣らない風格で、西の海に向かって鎮座をしております。また、西から伊江島住民に危害を及ぼす侵入者を威嚇しているようにも見えます。

答 亀里敏郎議員の1点目、仮称、ゴリラ・キングコング岩を、伊江村の新たな観光資源として、広く宣伝することについて、お答えいたします。

区域の岩に見劣りするものを持っています。自信を持って進言できます。そこで、仮称、ゴリラ・キングコング岩を、伊江村の新たな観光資源として、広く宣伝することについて、お答えいたします。現場を確認しましたところ、議員お説のとおり、西を向いて鎮座するゴリラもしくはキングコングの風格ある、長い年をかけたゴリラは、後ろ姿に見える岩と木上げられた、自然のなせる

第11回全国和牛能力共進会 宮城大会に向けて

村長／次に向けてしっかりと取り組んでまいりたい

問 平成29年9月7日から5年に一度の別名「和牛のオリンピック」大会で優秀な成績をおさめることで、和牛ブランドの市場価値が全国的に高まるため、参加する団体等にとっては、まさに威信をかけた大会となり、この大会を通じて全国の和牛生産者同士が交流を深め、生産意識の向上と和牛改良組合組織の連携強化を図る大会でもある。そこで、村の大会に向けての取り組みを伺いたい。

答 5年ごとに開催される全国和牛能力共進会は、本村からも昭和57年第4回大会（福島県開催）の松川進一氏をはじめ5名の皆様が県代表として出品、優秀な成績をおさめられております。

大会に向けた取り組みとしては、和牛改良組合が沖繩県家畜改良協会と連携を図りながら出品区、第3区の若雌の部門にしましては、出品月齢に合わせ平成27年3月から母牛の選定と人工授精を行いました。これまでに生産された候補牛から審査、選抜をしていく予定であります。また、5区の繁殖雌牛群（成雌牛4頭を1群とした出品）6区高等登録群（直系3代にわたる3頭を1群とした出品）についても、出品該当候補牛の選抜を行っています。ところで、今大会から新たな出品枠の多頭群での出品などにも備えた予算措置も必要となりますので、今月開催予定の和牛改良組合総会時に発足する全共推進対策協議会の中で協議を図りながら、県代表牛として選出されるよう取り組んでまいりたいと考えております。



▲第10回和牛能力共進会 長崎大会

伊江村村長選挙への再選出馬について

村長は、みずからのソフト政策として、伊江村救急患者搬送船整備事業で、搬送船「みらい」を就航させました。また、伊江村子育て支援金、伊江村出産祝い金に関する条例の全部を改定して、支援金の額を大幅に増額したのにあわせ、伊江村結婚披露助成金支給条例を新たに制定するなど、他町村では見られない斬新な政策であります。そのことは多くの伊江村民から高い評価を得ております。

問 ソフト政策として、伊江村救急患者搬送船整備事業で、搬送船「みらい」を就航させました。また、伊江村子育て支援金、伊江村出産祝い金に関する条例の全部を改定して、支援金の額を大幅に増額したのにあわせ、伊江村結婚披露助成金支給条例を新たに制定するなど、他町村では見られない斬新な政策であります。そのことは多くの伊江村民から高い評価を得ております。

答 これまで、村民の振興発展と、村民福祉の向上など、地域の声に耳を傾け、職員とともに全力で取り組んできたつもりです。その中で懸案事項等について少しずつ達成前進することができたのではないかと考えております。

現島袋秀幸村長の卓越した政治手腕と冷静な判断力は、必要不可欠であります。そこで、単刀直入で誠に恐縮であるが、再選出馬へについて意見を伺いたい。



▲湧出に隣接する仮称ゴリラ・キングコング岩

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

村政のここを問う!

9月定例会 一般質問



内間 広樹 議員

既存の樹木保存し事業を進めていきたい

問 戦後焦土と化したために村一円に植栽された樹木が、近年の相次ぐ大型台風により枯死木化となる現象が見られ、植栽年数などから再生不可能だと感じるところでしたが、昨年春頃から新芽が目立ちはじめ、現在においては台風被害前と同等に再生している樹木も多く見られ、村内の景観を彩るようになっています。枯死木がある現状もあります。今後予定されているミナト縦線街路樹整備事業、防風林帯整備事業、その他の事業に伴う現存自生する樹木は保存すべきと考えるが、村当局はどのように対処する計画か所見を伺いたい。

答 戦後焦土と化した島に緑を復興させるため、先人たちに興る鳥ぐるみの緑化運動の中で植栽され、今日まで防風・防潮林として重要な役割を果たしてきました。しかしながら、平成23年度から続いた相次ぐ大型台風等の影響や、北海岸においては季節風による潮風害も加わり、樹齡を迎えたモクマオウ等が倒木や立ち枯れし、大きな被害を受けている状況でありましたが、樹木の経過で再生した樹木や、自生してきた樹木や草により、緑の景観も徐々に復元し、安堵しているところでございます。ご質問の、事業実施個所に自生する樹木の保存につきましては、村としましては、既存の樹木は保存する

ことを前提に事業計画をしているところであり、今年度のミナト縦線街路樹整備工事や、県営・団体営農地保全整備事業ほか、造林事業や村内植樹祭等、各種植栽事業においても、枯死木や雑木は除去し、既存の

伊江村のラスパイルズ指数について

村長/適切な処遇改善を図っていきたい

問 地方公共団体の一般行政職員の平均給与額を、国家公務員の平均給与額100とした場合の地方公務員の給与水準を、ラスパイルズ指数を用いて毎年度実態調査(総務色)されていますが、伊江村においては、89.9(平成27年4月1日時点)となっており、県内上位から33番目に位置し、町村平均95.0に約5ポイントの開きがあるがその要因は何か、村長の所見を伺いたい。

答 ラスパイルズ指数は、給料表の改定方法・運用等において国と異なる措置を行った場合に変動(上下)すると言われており、具体的には「給料の改定率が国と異なる場合」「定期昇給率が国と異なる場合」「特別昇給制度や昇格・昇給基準の運用が国と異なる場合」「初任給基準の改定を行った場合」職員構成が

樹木は保存することを前提に事業を進めてまいりたいと考えております。



▲保存される樹木

変動した場合」などの変動要因が考えられます。御存じのとおり、本村はこれまで国の人事院勧告、県の人事委員会勧告に基づき給与改定してきた経緯があることから、本村が「町村平均95.0に約5ポイントの開きがある要因」としては、「職員構成の変動」「特別昇給制度や昇格・昇給基準の運用」が主だった要因となるのではないかと考えているところであります。沖縄県の町村平均95.0に近い類似団体の宜野座村と比較しますと、本村は、1級・2級(主事クラス)の比率が高い傾向にあり、平均年齢における平均月額給料において低い状況にあります。これは、近年、定年による高齢者の退職と20代の若年職員の採用が増えた「新旧交代」も背景にあるのではないかと推察しているところでございます。

しかしながら、町村平均とのポイントの開きは、従来、恒常的に見られるものであり、その他の要因と組み合わせた運用上の結果とも思料されることから、多角的に検証する必要があると考えております。いずれにしても、伊江村においては、国の人事院勧告等に準じて給与改定等を実施しており、一朝一夕にラスパイルズ指数を変動させることは容易ではないと認識しており、今年度より導入しました「人事評価制度」による職員一人一人が業務目標を設定した「業績評価・能力評価」を定着させていく中で、頑張っている職員が報われるような給与・制度を確立し、役場職員の人材育成と士気の高揚につながるよう、適切な処遇改善を図ってまいります。

村政のここを問う!

9月定例会 一般質問



名嘉 實 議員

F-35Bステルス戦闘機及びオスプレイの着艦訓練場、LHDデッキの強化・拡張工事について

村長/基地負担の増大につながるよう要請していき

問 8月22日にLHDデッキの強化・拡張工事が始まり、過去5回、一般質問で取り上げましたが、村長は「十分な情報が得られない現段階では計画の中止を求めたい」と述べてられました。そこで、3点伺います。(1)現時点でも中止を求めないか。(2)防衛局にはどのようなことを要請したのか。(3)F-35Bが配備される予定の岩国市、中継基地の嘉手納基地関係市町とも連携をしていくべきだと思いませんか。

答 1点目について、これまででも申し上げておりますとおり、LHDデッキ等改良工事については、具体的な工事概要等の説明がないままの工事は中止を求めたところであり、工事の中止を求めている立場に変わりはございません。2点目、去る9月1日に中嶋沖繩防衛局長に対して、今回のLHDデッキ改修工事が米国予算とは異なり、改修費を国が負担するものか、地元への情報提供がないままに、工事着手されたことにも、今後とも、詳細な情報提供を強く求めており、さ

らに、実際に工事が着工されている現状で、今後の工事に係る工事用車両等による地域住民への影響が懸念されることから、住民生活に支障を来さないように入札及び請負業者への申し入れを要請しております。3点目、去る8月22日、F-35Bを岩国飛行場に配備する旨の説明がありました。しかし、同機の運用については、日米間で協議しているところであることとあり、同機の運用等によ

子どもの貧困対策について

村長/制度を広く住民に周知し活用に向け取り組んでいく

問 去る6月定例会の一般質問に対する答弁で村長は「7月をめどに福祉教育、医療、保健に係る担当課及び関係機関からなる(仮称)子ども貧困対策推進協議会を設置し、子どもの成長過程ライフステージに即した効果的な支援が講じられるよう組織の構築を図っていく」と答弁されました。(1)その組織は構築されたか。(2)子どもの貧困対策として、具体的などのような施策を考えているのか、分野ごとの現状と対策について。

答 1点目、副村長を委員長に、福祉、教育、医療保健、政策調整、居住、住民生活

り基地負担を増大させないよう取り組んでいただくよう要請しております。報道であるよう、東村高江のヘリパッド工事の重機や資材を運搬するヘリが伊江村の飛行場を使われたとあり、空港許可を出したのは村の権限だそうですが、どうして空港許可を出したのか伺いた

いた安全上の支障あるのなら、当然これは不許可にするべきでしょう。でも安全性が確保されているものというところで許可をしているところですが、今後、ヘリコプターが使用の届けをしただけでは、内容がしっかりと精査して、できればかりの飛行場を使用していただくという要請をしていきたいと思っております。

6年計画に盛りこみ実施をいたします。保健医療分野においては、村独自の対策として生活困窮世帯を対象に、村立診療所伊江歯科医院の受診に限り窓口での一部負担金を支払いせずに受診できる制度を実施してまいります。あわせて県が現在取り組んでいる貸付制度を、広く住民に周知し、活用に向けて取り組んでいきたいと考えております。また、次年度以降の対策として、アンケート調査を実施し、子育て支援プログラムとしての作成、非課税世帯を対象とした保育料学習塾の無料化、学校給食費の軽減等を検討してまいります。

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

AV-8Bハリヤー機墜落事故に伴う抗議



▲10/12沖縄防衛局長へ抗議する村長と議員

伊江島米軍施設現地視察



▲米軍による現場説明

▲説明を受ける議員

九月二十一日に全議員で伊江島補助飛行場(演習場)を視察。滑走路の拡張工事の進捗状況などを確認し、牧草地の確保や早期植栽の充実を図るよう沖縄防衛局職員へ要請しました。十月十二日には島袋村長と共に中嶋浩一郎沖縄防衛局長へAV-8Bハリヤー墜落事故に伴う抗議を行いました。

議会による要請行動等

農業委員会法の改正による要請



▲右から2人目 山内会長による要請

これまで公職選挙方に基づき選出されていた農業委員会を農業委員会法の改正等により、任命権者が市町村長となり、議会の同意を得て農業委員の選出が行われるようになりまし。また、主な改正内容として女性農業委員や青年農業委員の増員を図り農地利用の適正化の推進に向け、沖縄県農業会議会長山内昌茂氏より要請がありました。

議決の結果

平成28年第6回定例会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
報告第9号	平成27年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出	村長	9月13日	原案報告
報告第10号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	村長	9月14日	原案報告
認定第2号	平成27年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定	村長	9月15日	原案認定
認定第3号	平成27年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定	村長	9月15日	原案認定
認定第4号	平成27年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	村長	9月15日	原案認定
認定第5号	平成27年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	村長	9月15日	原案認定
認定第6号	平成27年度伊江村水道事業会計利益の処分及び決算の認定	村長	9月15日	原案認定
認定第7号	平成27年度伊江村船舶運航事業会計利益の処分及び決算の認定	村長	9月15日	原案認定
議案第61号	平成28年度伊江村一般会計補正予算(第2号)	村長	9月14日	原案可決
議案第62号	平成28年度伊江村診療所特別会計補正予算(第2号)	村長	9月14日	原案可決
議案第63号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	村長	9月14日	原案可決
議案第64号	平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	村長	9月14日	原案可決
議案第65号	平成28年度伊江村水道事業会計補正予算(第2号)	村長	9月14日	原案可決
議案第66号	平成28年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第1号)	村長	9月14日	原案可決
議案第67号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	村長	9月13日	原案可決
議案第68号	伊江村観光振興推進協議会設置条例の制定	村長	9月13日	原案可決
議案第69号	西崎漁港整備工事の請負契約	村長	9月13日	原案可決
陳情書第1号	県産品の優先使用について	議員	9月15日	原案可決

議決の結果

平成28年第7回臨時会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
議案第70号	平成28年度伊江村一般会計補正予算(第3号)	村長	11月22日	原案可決
議案第71号	平成28年度伊江村診療所特別会計補正予算(第3号)	村長	11月22日	原案可決
議案第72号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	村長	11月22日	原案可決
議案第73号	平成28年度伊江村水道事業会計補正予算(第3号)	村長	11月22日	原案可決
議案第74号	平成28年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号)	村長	11月22日	原案可決
議案第75号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	村長	11月22日	原案可決
議案第76号	伊江村B&G海洋センターマイクロバス購入の契約	村長	11月22日	原案可決
議案第77号	ミースイ公園整備工事の請負契約	村長	11月22日	原案可決
議案第78号	伊江歯科医院備品購入の契約	村長	11月22日	原案可決

議会の活動

平成28年9月

- 2日: 広報委員会
- 2日: 伊江村畜産共進会(議長・経・公委員)
- 7日: JA園芸生産組合総会(議長)
- 8日: 議会運営委員会
- 10日: 北部広域市町村圏事務組合定例会(議長)
- 13~15日: 9月定例議会(全議員)
- 21日: 村和牛改良組合総会(議長)
- 21日: 全員協議会・米軍施設現地視察
- 24日: 第61回伊江村陸上競技大会(全議員)
- 28日: 第39回北部地区畜産共進会(議長・経・公委員)

- 29日: 北部広域市町村圏事務組合と
公立大学法人名城大学との懇親会(議長)



▲第39回北部地区畜産共進会激励

10月

- 5日: 老人ホームいえしま「敬老会」(議長)
- 6日: ふれあう心やんばの集い運動会伊江村大会(議長)
- 8日: 第32回やんばの産業祭り(議長)
- 9日: 阿良区民俗芸能発表会(全議)
- 11日: 葉たばこ販売激励(全議員)
- 11日: 県町村議議会決算監査
- 12日: 第36回沖縄県老人ゲートボール大会(全議)
- 12日: AV-8Bハリアー機墜落事故等に伴う抗議・要請(議長)
- 12日: 県町村議議会理事会・総会(議長)
- 13日: 沖縄県町村議員研修会・事務局研修会(全議)
- 14日: 沖縄県離島議長会臨時総会(議長)
- 16日: 第53回国頭郡陸上競技大会(議長)
- 17日: 村観光振興推進協議会(議長・経・公委員長)
- 21日: 葉たばこ販売終了会(議長)
- 22日: 村保育所合同運動会(議長)
- 23日: 第43回村老人・婦人スポーツ大会(全議)
- 25日~28日: 全国広報委員研修会(広報委員)
- 26日: 第6回世界のウチナーンチュ大会開会式他(議長)
- 28日: 世界のイージマンチュ交流会2016(全議)
- 30日: 第6回世界のウチナーンチュ大会閉会式(議長)



▲葉たばこ販売激励



▲世界のイージマンチュ交流会2016

11月

- 1日: 北部農業委員会伊江村研修会(議長)
- 4日: 第42回沖縄県畜産共進会(議長・経・公委員)
- 4日: 地域基幹病院構築に向けた住民勉強会(議長)
- 6日: 海兵隊誕生式典(議長)
- 7~10日: 第35回離島市町村議会議長全国大会
第60回町村議会議長全国大会(議長)
- 9日: 全国火災予防運動に係る防火デー(全議)
- 12日: 伊江村民俗芸能発表会(全議)
- 16日: 広報委員会
- 17日: 沖縄県町村議会広報研修会(広報委員)
- 21日: 製糖工場火入式(議長)
- 22日: 第7回臨時会(全議)
- 22日: 村政功労者表彰式(全議)
- 24日: YYY開業25周年記念パーティー(議長)
- 26日: 2016離島フェア(議長・総務委員)
- 27日: 伊江村郷友会運動会(議長)
- 30日: 北部広域市町村圏事務組合臨時会(議長)



▲伊江村民俗芸能発表会(阿良区)

研修報告

● 沖縄県町村議会議員・事務局研修会 10月13日

食とのつながりが大切

今回は、「いい栄養で、いきいき元気! 認知症予防!」と題し沖縄メディカル病院副委員長・金城大学客員教授 吉田貞夫氏を迎え、自分の実体験や研究してきた成果、食の大切さについて講演が行われた。

また、「子ども発達生涯」について、名護療育医療センター

勝連啓介氏・県発達障がい支援センター主任と那城都子氏の講演も行われた。
今回の研修で学んだことを、これからの取組みに役立てていきたい。



▲吉田貞夫氏による講演



▲全議員で研修を受けました

● 全国広報研修会・沖縄県町村議会広報研修 10月25日~28日 11月17日

伝わる広報誌づくりとは

第82回町村広報研修会が東京都で砂防会館において3人の講師を招き開催された。全国の優秀事例を踏まえ、どの広報誌も写真やイラスト、グラフ等を使い、余白も気にしないよう工夫された広報誌作りがされていました。

また、町村議会広報クリニックでも、議員個々が伝えたい

思いではなく、読み手側の立場で編集する事の大切さの研修を行いました。

この研修で学んだ事を今後の広報誌作りに役立て取組んでいきたいと思ひます。



▲全国広報研修を受ける広報委員



▲県町村議会広報クリニックの様子

● 議長研修報告

第35回離島振興市町村議会議長全国大会 第60回町村議会議長全国大会 11月7日~10日

11月8日に東京都の都市センターホテルにおいて離島議長大会が開催されました。

県内からも18離島の議長が出席。大会では離島住民の生活向上に期する14案件の要望が全会一致で決議されました。翌日のNHKホールでの町村議長大会には県内29町村議長が出席。

地方創生の実現をめざして17案件の要望が決議され、今大会から初めて基地の負担軽減に向けた対応や特別の財政措置の追加案件が決議されました。



▲安倍総理も出席した第60回町村議会議長全国大会

“みんなの声”聞いてみました

今回から新たな取り組みとして、村内の産業や各地域で頑張っている方々にスポットあて、地域の声を掲載していきたいと思ひます。第1段として、これから最盛期を迎える花卉生産者の皆さんから声を聞きました。



集荷作業に汗を流す並里さん

基地が近く騒音がうるさいの
どうかして欲しいです。

並里さんから一言
基地が近く騒音がうるさいの
どうかして欲しいです。
並里さんは現在25歳、昨年まで
本島の土建業の仕事に携わって
いましたが、実家の後継者とし
て本村に戻ってきました。栽培
面積は、3,000坪で小ギク
2,800坪、大ギク200坪栽
培しています。事業を活用し来
期には平張ハウスを800坪整
備するとの事でした。



たくみ 拓実さん
(真謝区)



選別作業の様子

岸本所長から一言
選別施設を整備していただい
たおかげで、生産者も楽にな
り、従業員も雇用にも繋がっ
ています。今後、更なる稼働を
行っていきたいのでスプレー
ギク対応の選別機が欲しい。

平成22年に沖縄北部活性化特別
振興事業で整備された花卉選別
施設、毎年10月下旬から選別が始
まり、5月末まで作業が行われ
ています。11月現在の選別状況は、
5軒の生産者が出荷し、作業員12
名で作業を行っています。これか
ら最盛期を迎える時には40軒で
作業員40名、1日で600、
700ケースを選別する事もあ
るそうです。



ゆたか 岸本 豊さん
(西崎区)



ハウスの完成を待ちわびる大城さん

大城さんから一言
強化ハウスを整備出来たので、
これから面積を拡大して頑
張っていきたいです。新規農
者には支援事業が多いけど、規
模拡大の事業があれば助かり
ます。あと観光地以外にトイ
が無いのでサイクリングをし
ている人や観光客が困ってい
るのてつくって欲しいと観光
客も助かると思います。

大城さんは現在38歳、補助事業を
活用し700坪の強化ハウスを
整備しました。栽培面積は
4700坪で大ギクを中心にス
プレーギクも1000坪栽培し
JA花卉部会の部会長も2期目
を迎え頑張っています。



かずき 大城 一樹さん
(東江上区)

ワッタウメイ

「ワッタウメイ」とは伊江島の方
言で「私たちの思い・考え・真心・
愛情」という意味。

①



一番に
なりました

祝 第42回沖縄県畜産共進会
伊江村団体優勝おめでとうございます!!

4年ぶりの沖縄一



②

全国狙います!

- ①平成28年度 第42回沖縄県畜産共進会において4年ぶりに団体優勝。来年は連覇をねらいます。
- ②平成18年に若い畜産生産者で立ち上げた「島牛会」現在16名のメンバーで伊江島の畜産振興に貢献しています。平成29年の全国和牛能力共進会へ向け取組んでいます。
- ③沖縄県で初めて女子だけで構成したチームが優勝、また、多くの大会で子ども達が活躍しています。この中から将来大相撲へ行く子は……
- ④元幕内の琉鵬(浦崎道涯)さん、現在は照太寺の副住職に就きながら地域活動に参加し、ちびっこ相撲の指導も頑張っています。伊江島創生塾では自分の経験した事を話しました。

手入りを頑張る島牛会



③

相撲やリノ、人
集まれ!

ちびっこ相撲大活躍

④



よろしく
おねがいします

副住職の浦崎さん